

LiveShell W

スタートアップガイド

2025年1月14日

ソフトバンク株式会社



項番	日付	変更内容
1	2025/1/10	初版



LiveShell.Wのオンラインマニュアルは取り扱い元となるcerevo社のホームページにて公開されています。

詳しい情報をお知りになりたい方は以下のサイトからご確認ください。

<https://liveshell-w-manual.cerevo.com/index.html>



【注意事項】

- ◆ムービーライブラリのライブ入稿ではプロキシ経由での接続には対応しておらず、プロキシ経由でのインターネット接続必須の環境ではライブ入稿はご利用いただけません。
※PC等のDashboardへのアクセスについてはプロキシ経由の接続でも可能です。
(ただし、その場合WebsocketもしくはFlashでの通信が可能である必要があります)。
- ◆LiveShell W はカフェ等で提供されているWi-Fi接続サービスなど、webブラウザでの認証が必要なネットワークへの接続には対応しておりません。
- ◆「配信したい品質にあった十分な上り帯域が確保されていること。(2~3Mbps以上の帯域を推奨)」
「通信の安定性を考えて有線接続を推奨」
- ◆LiveShell Wを使う場合で使うポート
80/tcp(LiveShell WのWebアプリケーションにて利用)
1935/tcp(RTMPを利用する場合)
443/tcp および 6275/tcp(LiveShell Remoteを使用する場合)



-LiveShell.Wの配線図-

ライブ配信の配線図となります。



初期設定

配信設定

※ソフトバンクにて配信設定を行った場合は
配信設定にお進みください



-ムービーライブラリ設定編-

ムービーライブラリの管理者ページのURLへブラウザでアクセスします。
ユーザーID、パスワードを入力してログインします。
ログイン後右上、【マイメニュー】→【管理画面】を押下してください。

MOVIE LIBRARY
powered by visumall

アカウントをお持ちの方はこちら

Eメールアドレス / ユーザID

パスワード

アカウントログイン

MOVIE LIBRARY powered by visumall

チャンネル 後で見る(0)

コンテンツ検索

マイメニュー

ソフトバンク

管理画面

再生履歴

メッセージ

コンテンツ管理

- > 動画のアップロード
- > 動画の管理
- > 画像のアップロード
- > 画像の管理
- > コンテンツグループの登録
- > コンテンツグループの管理

サポート

- > 利用マニュアル

ログアウト



-ムービーライブラリ設定編-

【コンテンツ管理】→【ライブ動画登録】をクリックします。

- ①[ライブチャンネル名]:プルダウンより選択
- ②[動画タイトル]:任意のものを記入
- ③[チャンネル名]:任意のものを選択
- ④[カテゴリ名]:任意のものを選択
- ⑤[公開の設定]:公開にチェック
- ⑥[配信予定日]:配信日時を選択
- ⑦登録

⑦ 登録



-ムービーライブラリ設定編-



ダッシュボード

アカウント管理

メニュー管理

コンテンツ管理

動画登録

動画一覧・編集

動画埋め込みタグCSV出力

画像登録

画像一覧・編集

コンテンツグループ登録

コンテンツグループ
一覧・編集

ライブ動画登録

ライブ動画一覧・編集

コンテンツ管理】→【ライブ動画一覧・編集】をクリックします。

<input type="checkbox"/>	ID	動画情報	チャンネル名 カテゴリ名	公開日	投稿者
<input type="checkbox"/>	1	 TEST グループ：未登録	全社 ライブ配信テスト	2023/02/08 11:50 ～	



-ムービーライブラリ設定編-

再生ボタン押下後、**[公開ポイント][ストリーム名][ユーザ名][パスワード]**を確認し、メモをします。
 上記サーバー情報がLiveShell側の設定登録に必要となります。
※ムービーライブラリでの設定は1度終了となります。

公開日	投稿者	ライブチャンネル	編集
2023/02/07 15:27 ~	[Redacted]	live_1	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 再生 編集 非公開 スライド </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> タグ表示 削除 </div>

検索結果 (1~1を表示/全1件) 1

エラーが発生しました。ページを再読み込みしても改善しない場合は、管理者までお問い合わせ下さい。

公開ポイント
ストリーム名
ユーザ名
パスワード

ここの値をLiveShell.Wに登録

[視聴ページはこちら](#)



-LiveShell W本体の準備-

次にLiveShell W本体の作業を行います。初めに内容物を確認します。

LiveShell W本体にACアダプタ、HDMIケーブル(カメラ接続)、有線LANケーブルを接続します。

※HDMIケーブル、有線LANケーブルは内容物に含まれていないので別途ご用意ください。

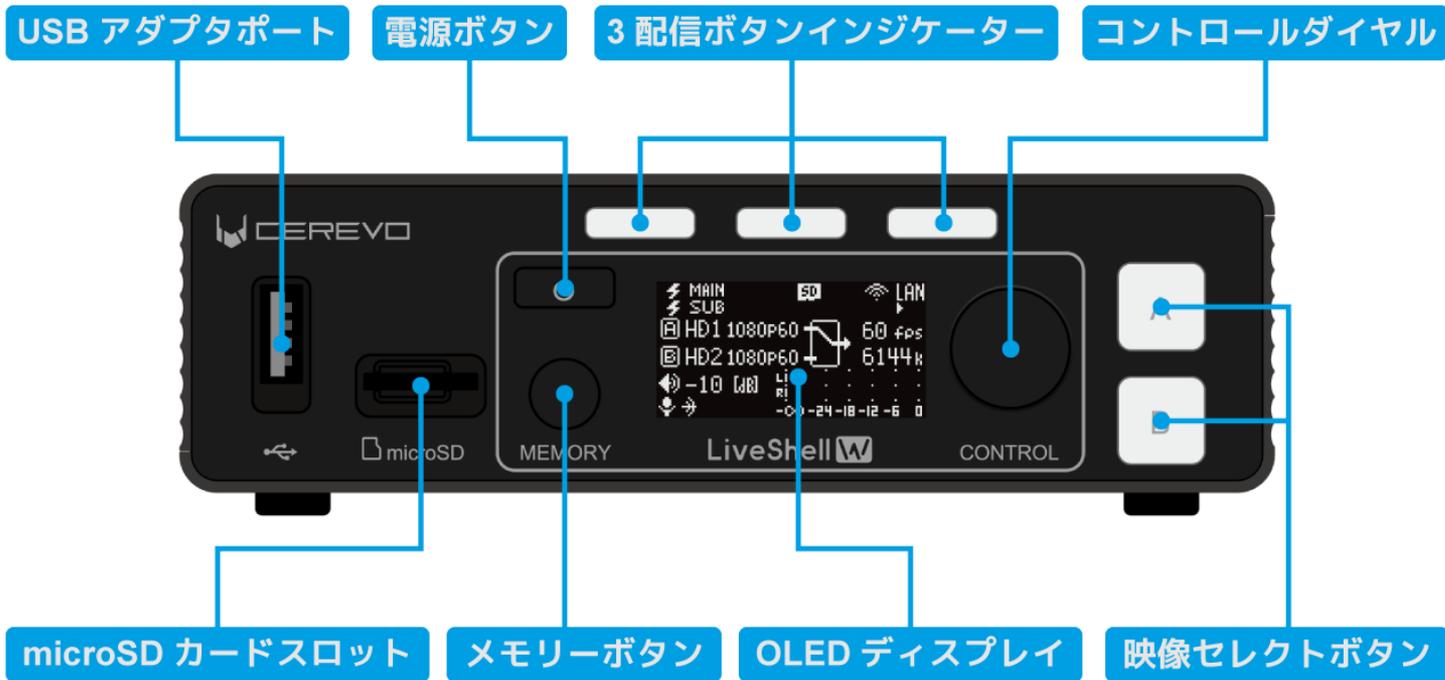


内容物一覧

- LiveShell W本体 × 1
- 無線LANアダプタ × 1
- 専用ACアダプタ × 1
- 電源用USB Type C-C ケーブル × 1
- 専用キャリーケース × 1
- LiveShell Wクイックセットアップガイド × 1

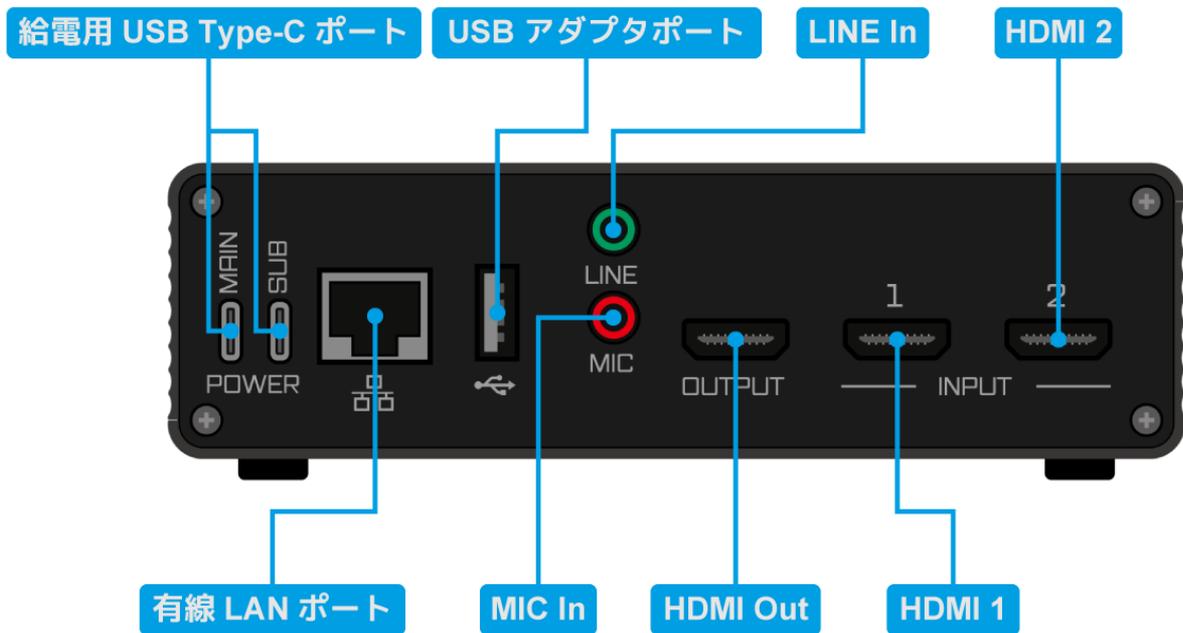


LiveShell W 前面パネル





LiveShell W背面コネクタ



-LiveShell Wの接続-

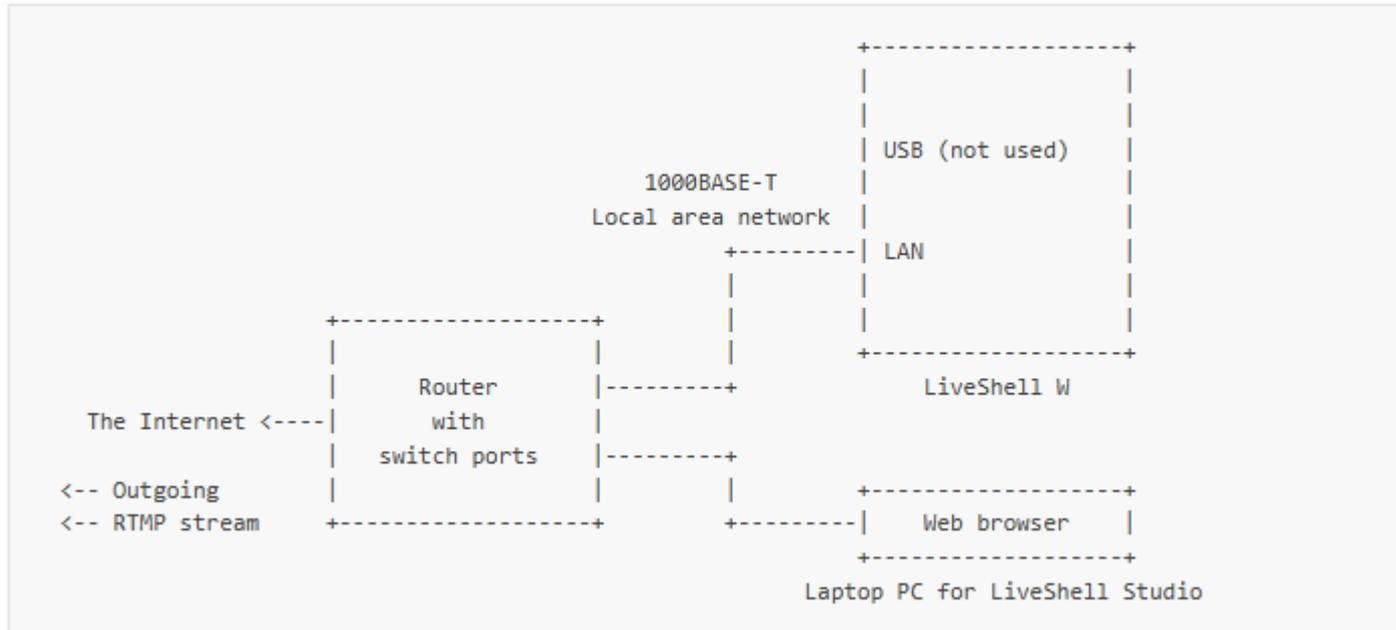
下記のように接続します。





-ネットワーク構成-

LiveShell.wと設定用PC(Web browser)のネットワーク構成図を下記に記載します。
スイッチングハブで接続するような形になります。

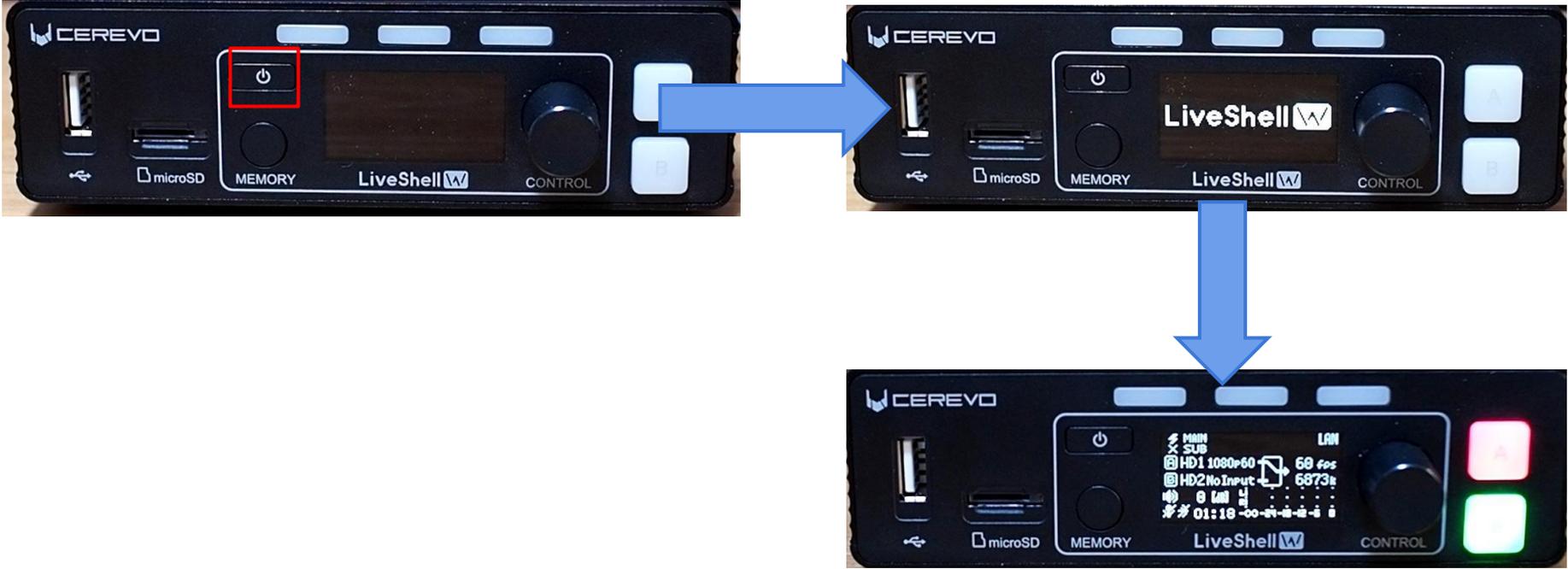




-LiveShell W本体の起動-

LiveShell W本体がネットワークに接続可能な環境が整ったら電源を入れます。

※電源は下記赤枠のボタンを長押しすることで起動します。



-無線LAN設定を行う-

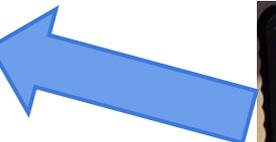
安定性を考慮し有線接続が推奨ですが、付属の無線LANアダプタを使い、無線接続を行うこともできます。その場合、LiveShell WをAPモード(無線LANアクセスポイント)にして、設定用のPCを接続して設定を行えます。なお、有線接続する場合には「-無線LAN設定を行う-」の章は飛ばしてください。



①「CONTROL」ボタンを押す



①「CONTROL」つまみを回して「NETWORK」を反転表示、②「A」ボタンを押す



①「CONTROL」つまみを回して「AP MODE」を反転表示、②「A」ボタンを押す



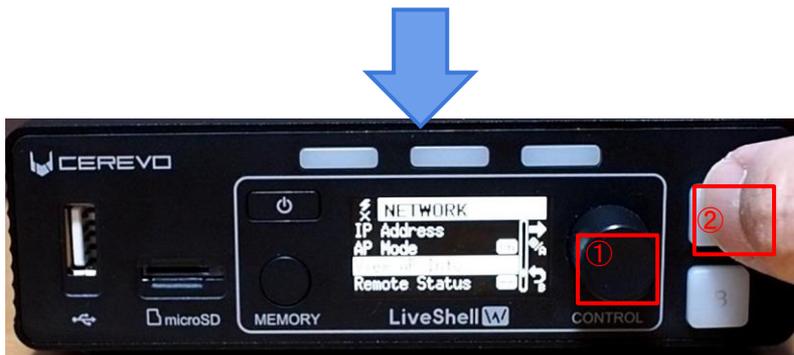
①「CONTROL」つまみを回して「AP Mode On」を反転表示、②「A」ボタンを押す。
「AP Mode On」の左にチェックが入ったら
③「B」ボタンを押す

-無線LAN設定を行う-

無線接続の場合

「AP INFO」でAPモードの設定を確認します。

「ssid」、「pass」、「URL」が表示されます。この設定をPCの無線LAN設定として設定します。



①「CONTROL」つまみを回して「View AP Info」を反転表示、②「A」ボタンを押す



表示されている設定でPCの無線LANの設定を行ったら、①「B」ボタンを2回押して「NETWORK」に戻る



-無線LAN設定を行う-

無線接続の場合

「WEB LOGIN」のメニューよりPCでログインする際の「user」、「pass」、「URL」を書き留めます。



「CONTROL」ボタンを回して
「NETWORK」を反転表示、「A」
ボタンを押す



「CONTROL」ボタンを回して
「Web Login」を反転表示、「A」
ボタンを押す



表示される「user」、「pass」、
「URL」を書き留める

-無線LAN設定を行う-

「AP INFO」に表示された無線LANに接続し、「WEB LOGIN」に表示された情報を元に、ブラウザを立ち上げてアクセスします(恐らく<http://10.0.0.1/>)。LiveShell Studioでは「設定」をクリックします。

The screenshot shows the LiveShell Studio interface. At the top, the '設定' (Settings) menu is highlighted with a red box. Below it, the 'WEB LOGIN' dialog box is displayed, containing the following text and fields:

このサイトにアクセスするにはサインインしてください
http://192.168.1.20 では認証が必要となります
このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザー名
パスワード

サインイン キャンセル

①ユーザー名とパスワードを入力します

-無線LAN設定を行う-

①「ネットワーク設定」タブをクリックし、以下の通り設定をいれていきます。

The screenshot shows the '設定' (Settings) application with the 'ネットワーク設定' (Network Settings) tab selected. The interface is dark-themed. Red boxes and arrows highlight specific settings and actions:

- 無線LANに変更**: Points to the '優先ネットワーク' (Preferred Network) dropdown menu, which is currently set to '有線LAN' (Wired LAN).
- 使用する無線LANのSSIDとパスワードを設定**: Points to the '無線LAN ネットワーク' (Wireless LAN Network) section, specifically the 'SSID' and 'パスワード' (Password) input fields.
- チェックを外す**: Points to the '無線LAN APモード' (Wireless LAN AP Mode) section, where the checkbox '無線LAN APモードを有効にする' (Enable Wireless LAN AP Mode) is checked.
- 「保存して再起動」ボタンをクリックするとLiveShell Wは再起動がかかり、指定した無線LANに接続します。**: Points to the '保存して再起動' (Save and Restart) button at the bottom right of the settings page.

※パソコンも指定した無線LANに接続します。



-LiveShell WにPCでログイン-

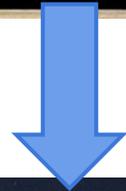
スイッチングハブ(無線の場合同一SSID)経由でネットワーク接続したPCから設定を行うために、まずはネットワークの情報を取得する必要があります。

LiveShell.wの起動中の前面で以下操作を行い。設定を確認します。

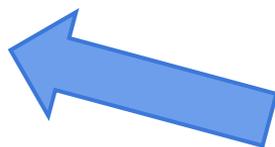
⇒「Menu」を表示⇒「Network」を選択⇒「Web Login」



「CONTROL」ボタンを押す



「CONTROL」ボタンを回して「NETWORK」を反転表示、「A」ボタンを押す



「CONTROL」ボタンを回して「Web Login」を反転表示、「A」ボタンを押す

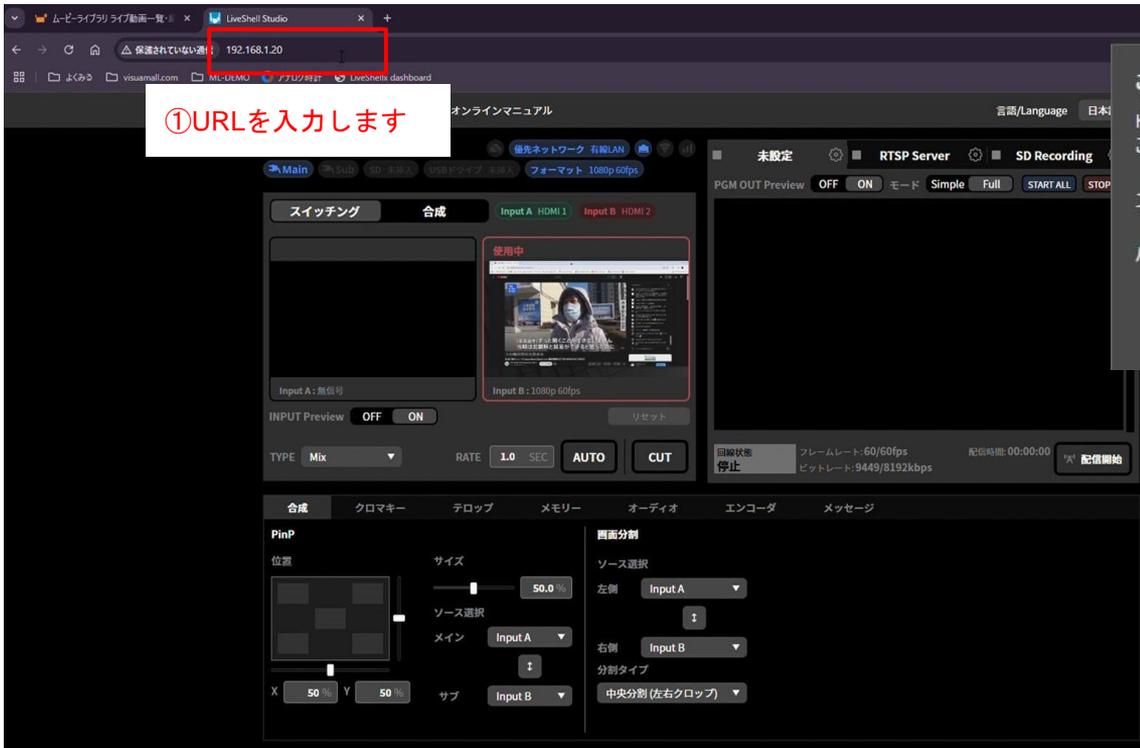


表示される「user」、「pass」、「URL」を書き留める



-LiveShell WにPCでログイン-

LiveShellと同一セグメントのネットワークに繋がったPCでブラウザを立ち上げて、LiveShell W本体にアクセスします。URLはスライドP14でLiveShell W本体前面パネルのURL欄に記載のあるものになります。ユーザ名とパスワードもLiveShell Wに表示されているものになります。



このサイトにアクセスするにはサインインしてください
 http://192.168.1.20 では認証が必要となります
 このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザ名

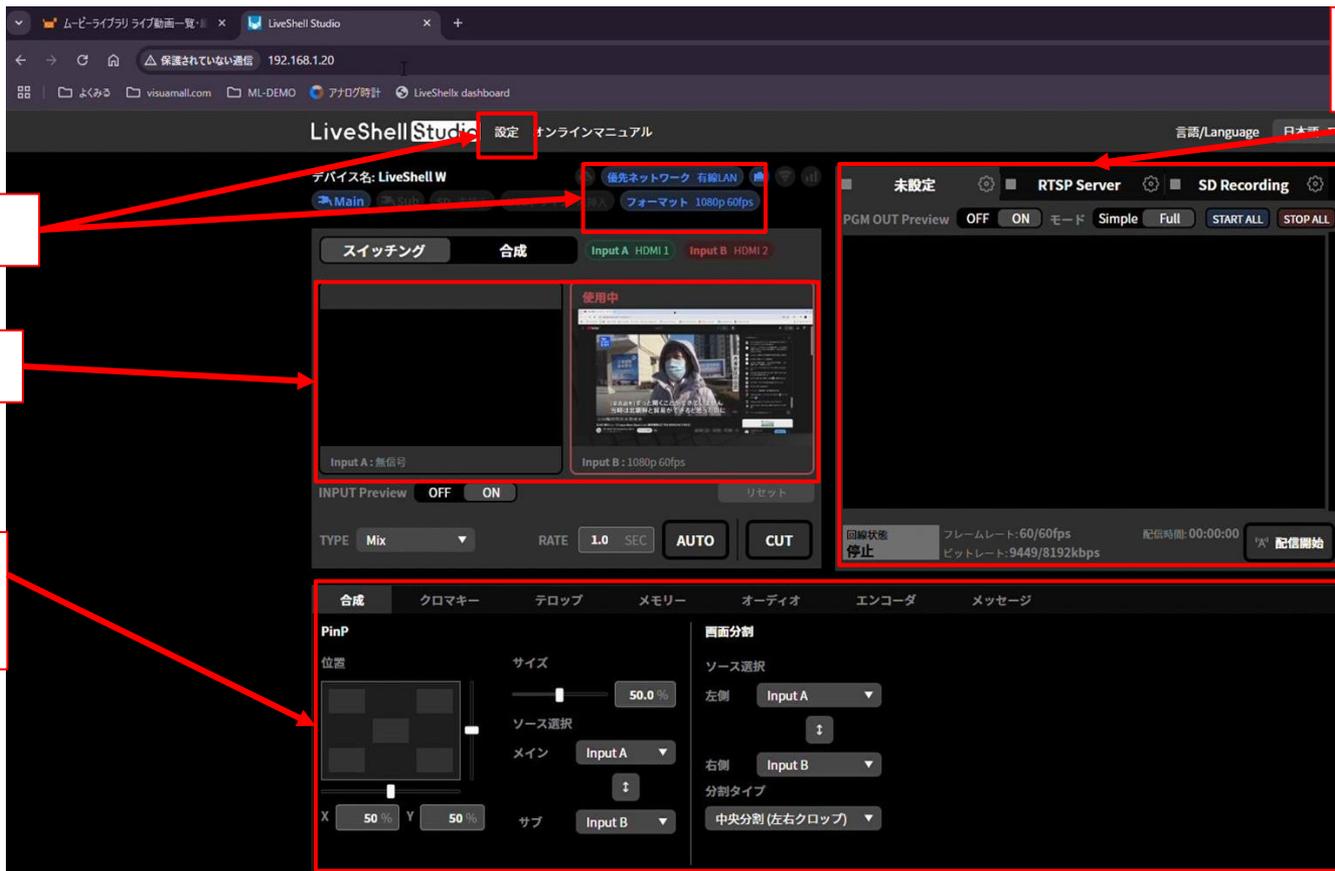
パスワード

②ユーザ名とパスワードを入力します



-LiveShell Studio-

ブラウザでアクセスすると配信の設定を行うLiveShell Studioの画面が表示されます。



配信側の確認側の確認

各種設定の呼び出し

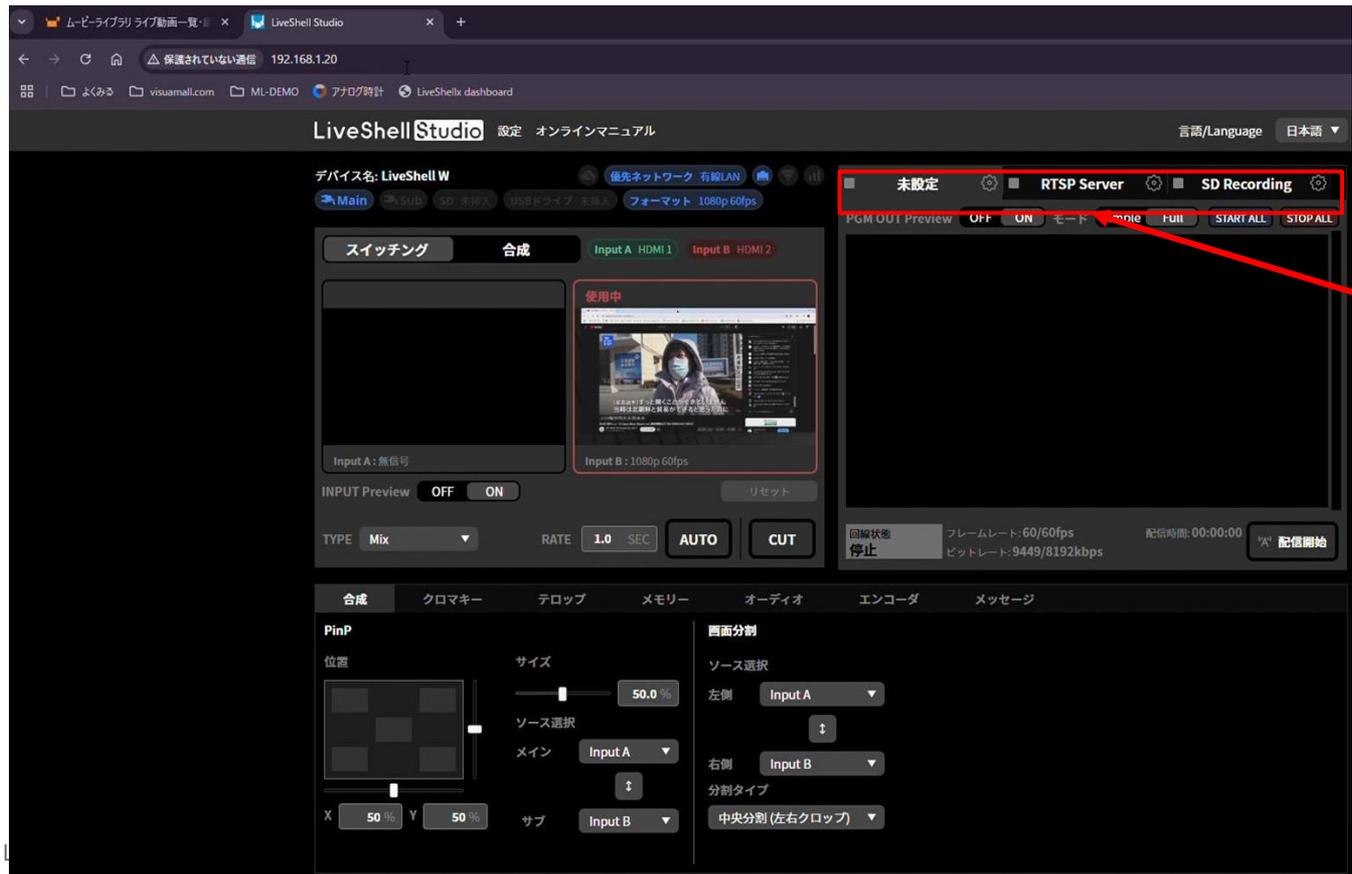
HDMI入力側の確認

各種合成、オーディオ、エンコーダの設定



-使用するチャンネルを選択-

右側、配信側画面の各タブの右端にある歯車アイコンをクリックします



ここにある各タブの右端にある歯車アイコンをクリックします



-使用するチャンネルを選択-

チャンネル2の配信先設定を変更します。

設定

配信

ネットワーク状態

ネットワーク設定

キー割り当て設定

LiveShell Remote

本体設定

チャンネル 1
未設定

チャンネル 2
RTSP Server
RTSPサーバー (ポート番号: 554)

チャンネル 3
SD Recording
録画 (コンテナ: MP4, メディア: SDカード)

配信先を管理する

変更

変更

削除

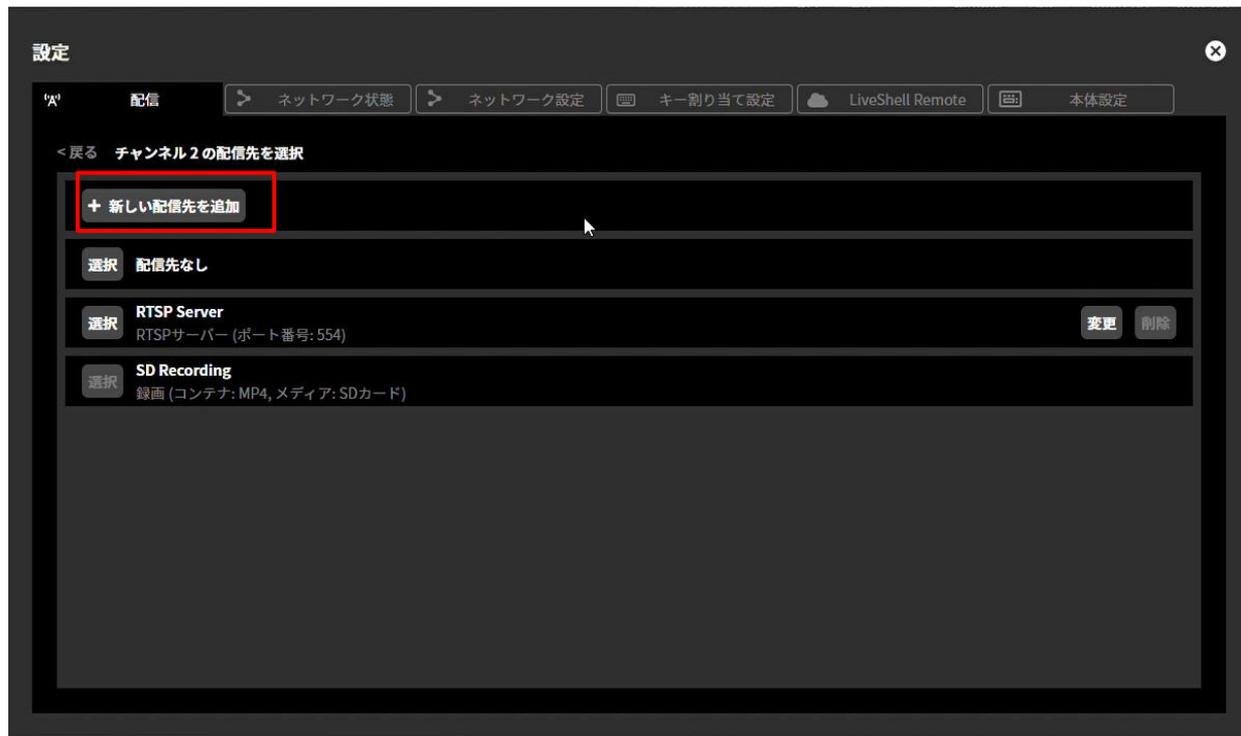
変更

削除



-配信するサービスの選択-

「新しい配信先を追加」をクリックします





-配信するサービスの選択-

表示名は任意の文字列を入力します。「RTMP認証を仕様する」のチェックボックスにチェックいれます。

下記情報はP10でメモをしたムービライブラリのサーバー情報を入力します。

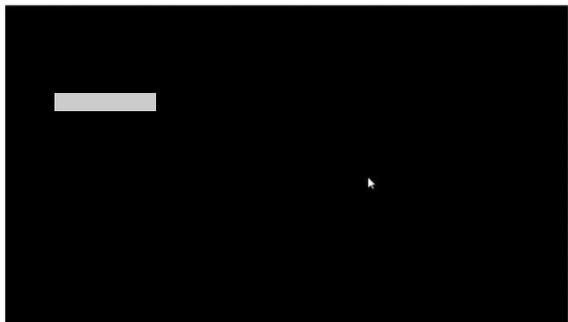
[RTMP URL]: [公開ポイント]、[ストリームキー]: [ストリーム名]、[RTMPユーザー名]: [ユーザ名]、[RTMPパスワード]: [パスワード]

通信プロトコルはお使いのもの「IPv4」、入力が完了したら、「保存」をクリックします。

「自動スタート」にチェックをいれると電源オンと同時に配信開始します。

項目	値
公開ポイント	rtmp://live.visuamail.com/sns_410_live_origin
ストリーム名	live/1stream
ユーザ名	shimada
パスワード	

動画「ライブchannel1(1.2Mbps)」の再生

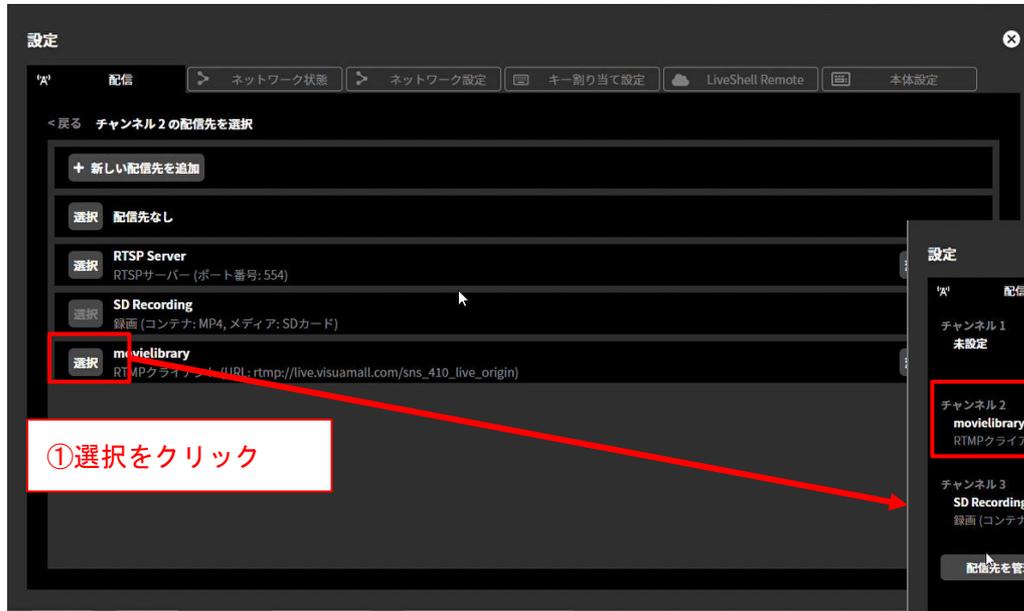


項目	値
公開ポイント	rtmp://live.visuamail.com/sns_410_live_origin
ストリーム名	live/1stream
ユーザ名	shimada
パスワード	



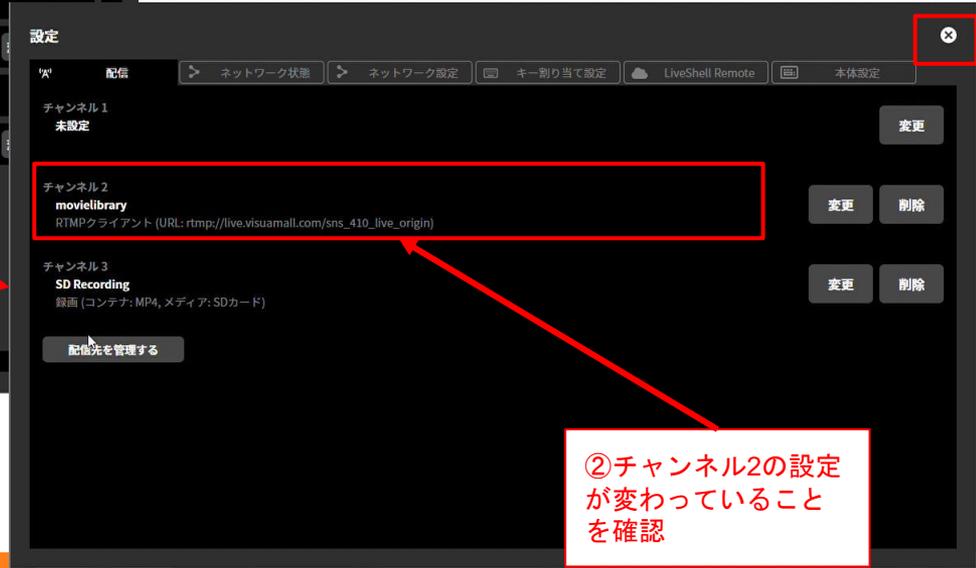
-配信するサービスの選択-

追加した配信先が一覧の一番下に表示されますので、その左側の「選択」をクリックします。その後「チャンネル2」の設定が変わっていることを確認し、「×」をクリックしてウィンドウを閉じます。



① 選択をクリック

③ 「×」をクリック



② チャンネル2の設定
が変わっていること
を確認



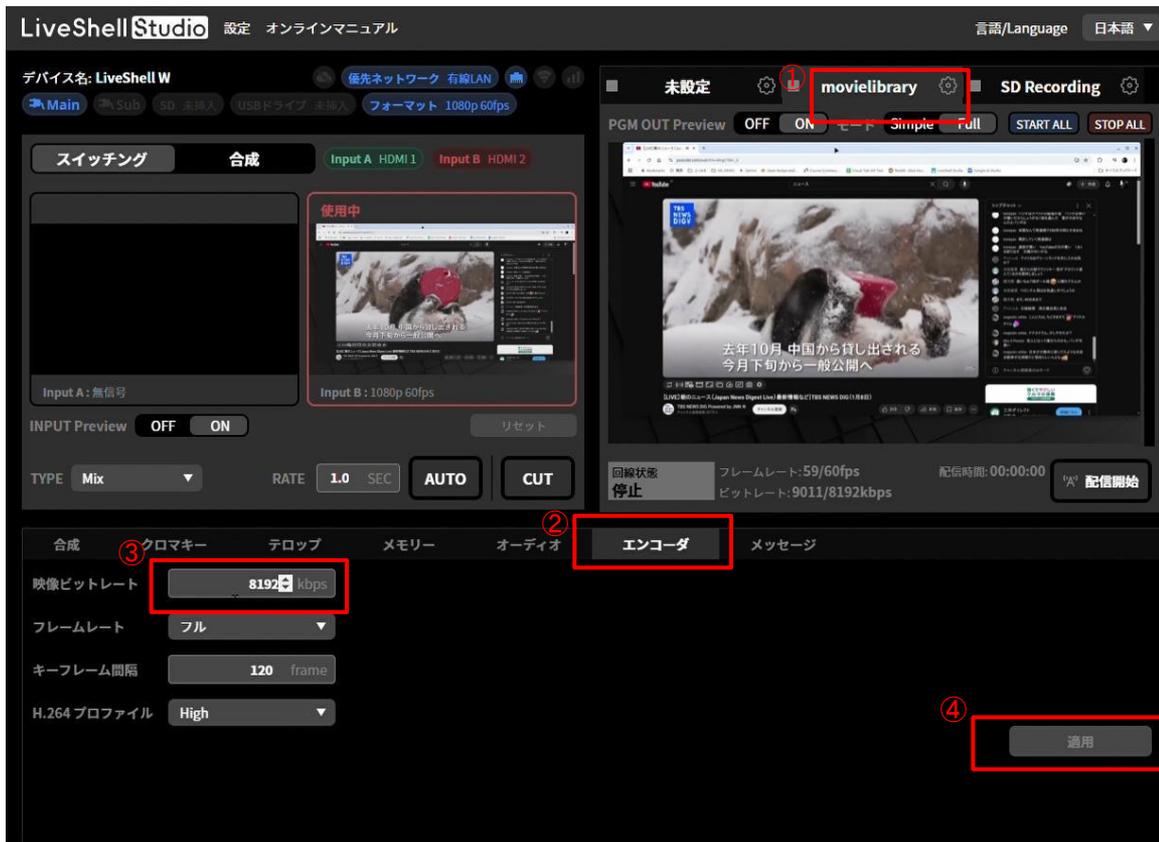
-配信するサービスの選択-

チャンネル2の表示名が設定したものに変わっていることを確認します。

The screenshot shows the LiveShell Studio interface. At the top, it says 'LiveShell Studio 設定 オンラインマニュアル' and '言語/Language 日本語'. Below that, 'デバイス名: LiveShell W' is shown. There are buttons for 'Main', 'Sub', 'SD', and 'フォーマット 1080p 60fps'. The 'スイッチング' section shows '合成' with 'Input A HDMI 1' and 'Input B HDMI 2'. The 'INPUT Preview' section has 'OFF' and 'ON' buttons. The 'TYPE' is set to 'Mix', 'RATE' is '1.0 SEC', and there are 'AUTO' and 'CUT' buttons. The 'PGM OUT Preview' section shows 'OFF', 'ON', 'モード Simple Full', 'START ALL', and 'STOP ALL'. A red box highlights the 'movie library' channel name. The '画面分割' section shows 'ソース選択' with '左側 Input A' and '右側 Input B', and '分割タイプ' set to '中央分割 (左右クロップ)'. The '配信開始' button is visible at the bottom right.

-エンコーダ設定の変更-

LiveShell Studio下部の部分で①チャンネル2を選択し、②「エンコーダ」タブをクリックします。



③以下の設定が変更可能です

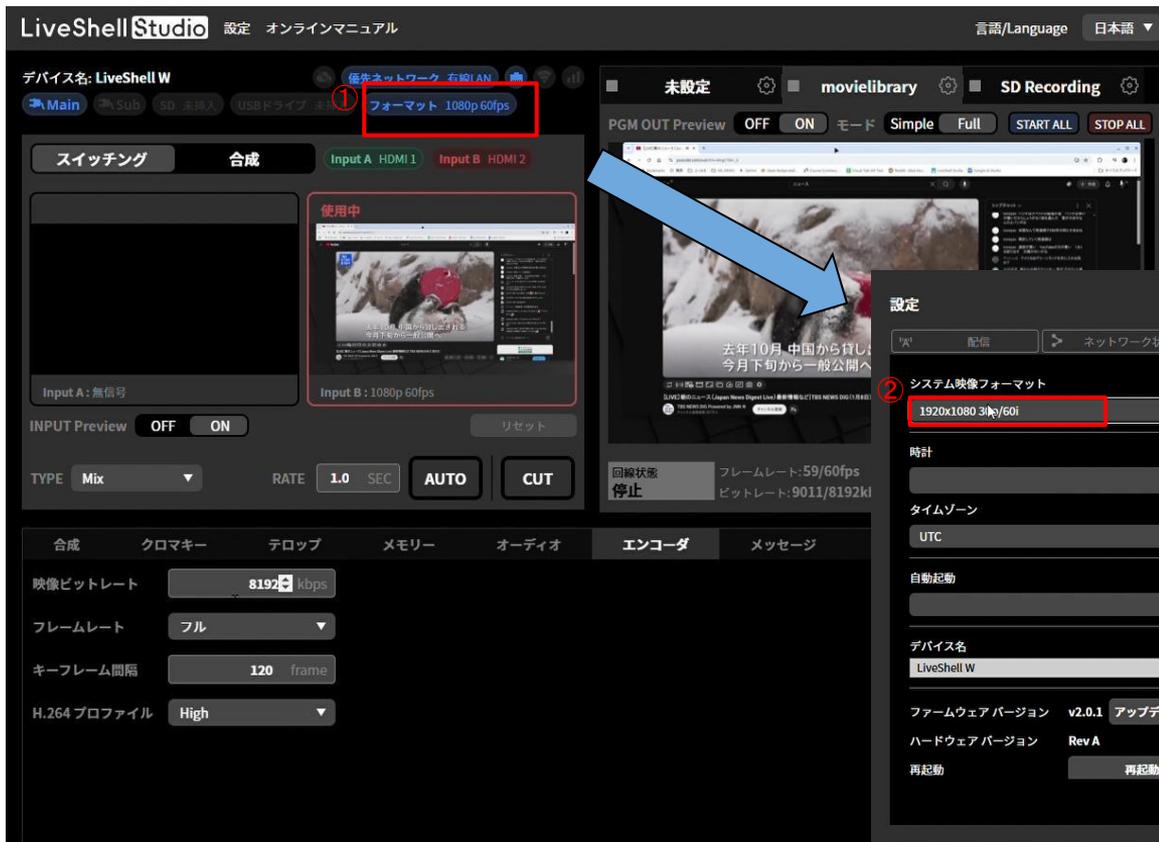
- ・映像ビットレート
- ・フレームレート
- ・キーフレーム間隔
- ・H.264プロファイル

④最後に「適用」をクリックします。



-ビデオフォーマットの変更-

LiveShell Studioの「フォーマット」をクリックして、解像度、フレームレートを変更できます。

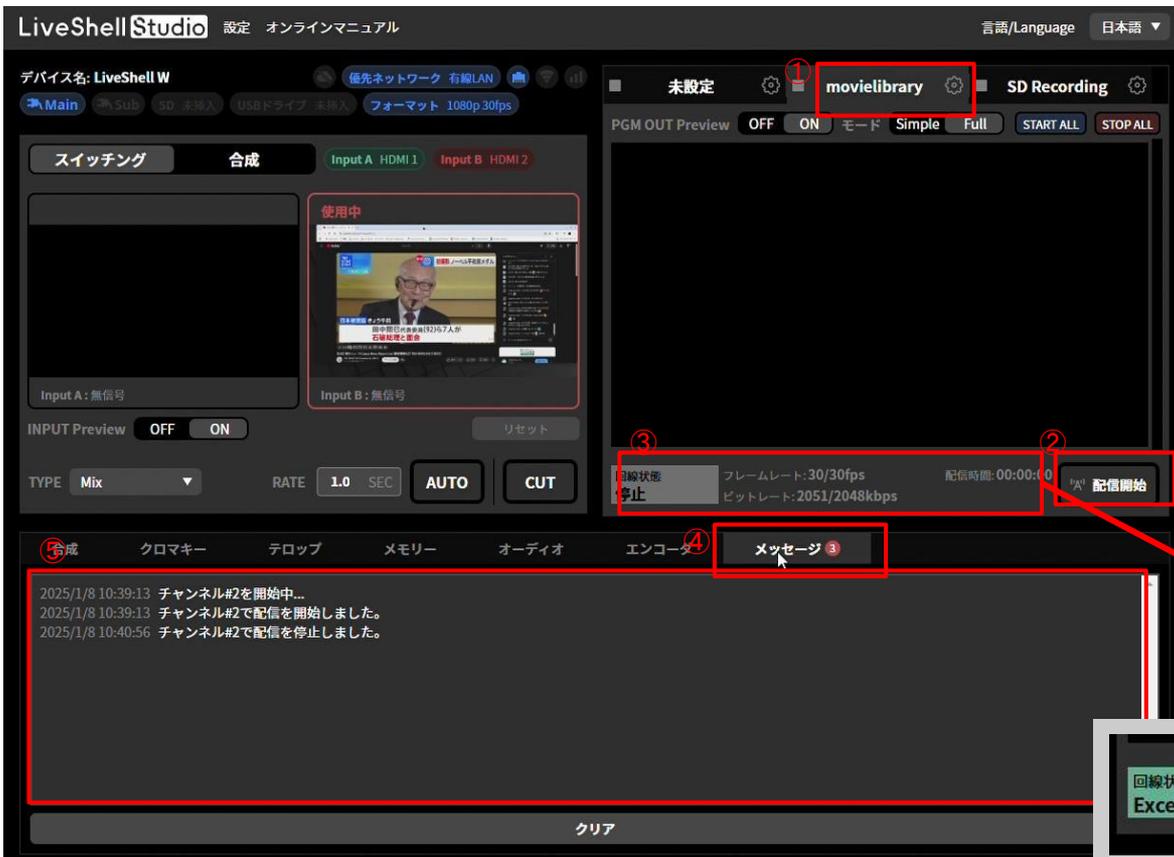


設定変更後、「保存して再起動」をクリックすると再起動がかかります。

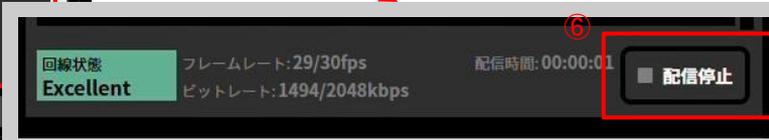


-映像配信開始-

LiveShell Studioの「配信開始」ボタンをクリックします。



- ①チャンネル2を選択します。
- ②「配信開始」ボタンをクリックします。
- ③配信状態が表示されます。
- ④「メッセージ」タブをクリックします。
- ⑤開始停止の履歴が表示されます。
- ⑥配信が完了したら、「配信停止」をクリックします。





-電源オフ-

- ① LiveShell W 前面の「電源」ボタンを長押しします。
- ② 「A」ボタンを押します。



初期設定

配信設定



-LiveShell W本体の準備-

次にLiveShell W本体の作業を行います。初めに内容物を確認します。

LiveShell W本体にACアダプタ、HDMIケーブル(カメラ接続)、有線LANケーブルを接続します。

※HDMIケーブル、有線LANケーブルは内容物に含まれていないので別途ご用意ください。



内容物一覧

- LiveShell W本体 × 1
- 無線LANアダプタ × 1
- 専用ACアダプタ × 1
- 電源用USB Type C-C ケーブル × 1
- 専用キャリーケース × 1
- LiveShell Wクイックセットアップガイド × 1

-LiveShell Wの接続-

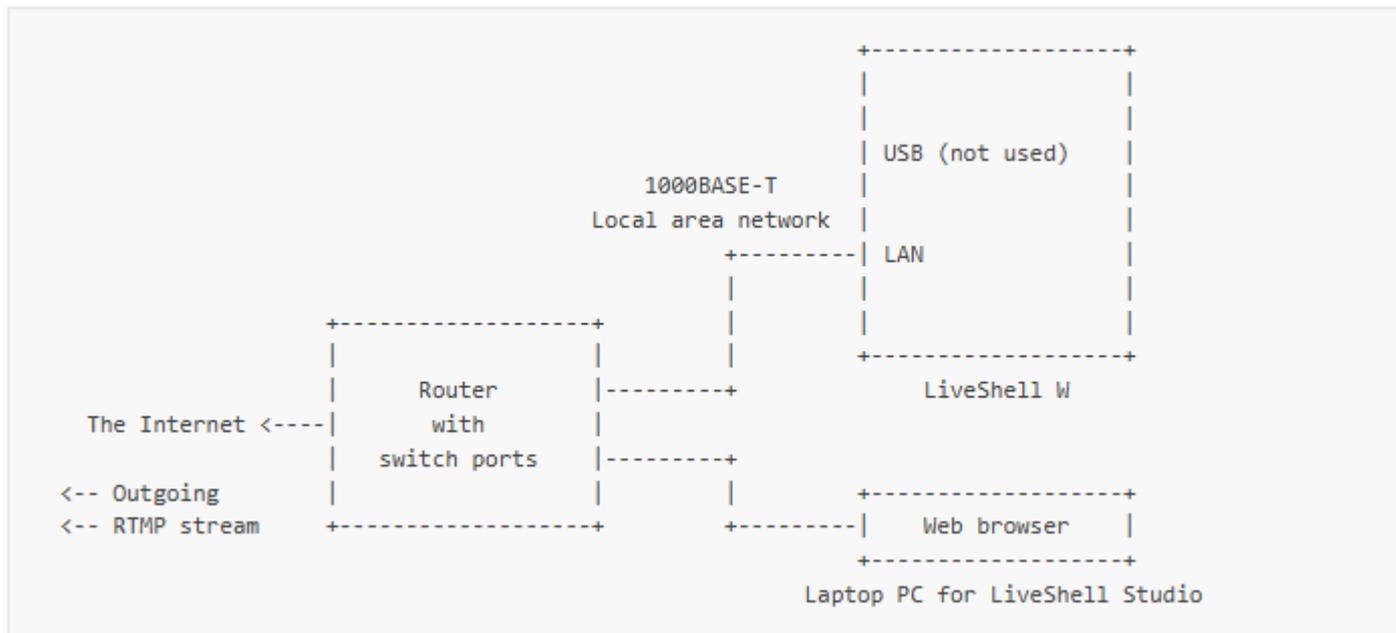
下記のように接続します。





-ネットワーク構成-

LiveShell.wと設定用PC(Web browser)のネットワーク構成図を下記に記載します。
スイッチングハブで接続するような形になります。

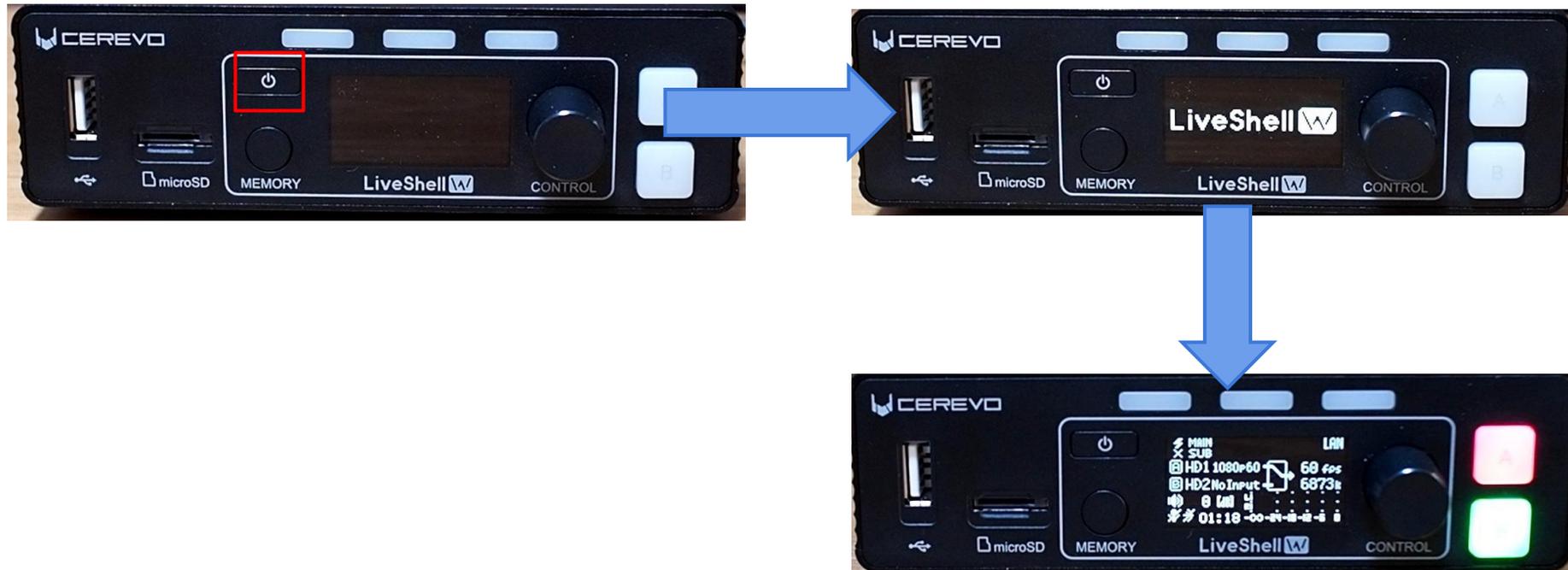




-LiveShell W本体の起動-

LiveShell W本体がネットワークに接続可能な環境が整ったら電源を入れます。

※電源は下記赤枠のボタンを長押しすることで起動します。





-LiveShell W本体の起動-

スイッチングハブ経由でネットワーク接続したPCから設定を行うために、まずはネットワークの情報を取得する必要があります。

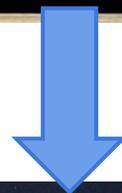
LiveShell.wの起動中の前面で以下操作を行い。設定を確認します。

⇒「Menu」を表示⇒「Network」を選択⇒「Web Login」

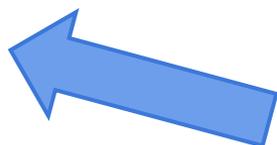
有線接続の場合



「CONTROL」ボタンを押す



「CONTROL」ボタンを回して「NETWORK」を反転表示、「A」ボタンを押す



「CONTROL」ボタンを回して「Web Login」を反転表示、「A」ボタンを押す

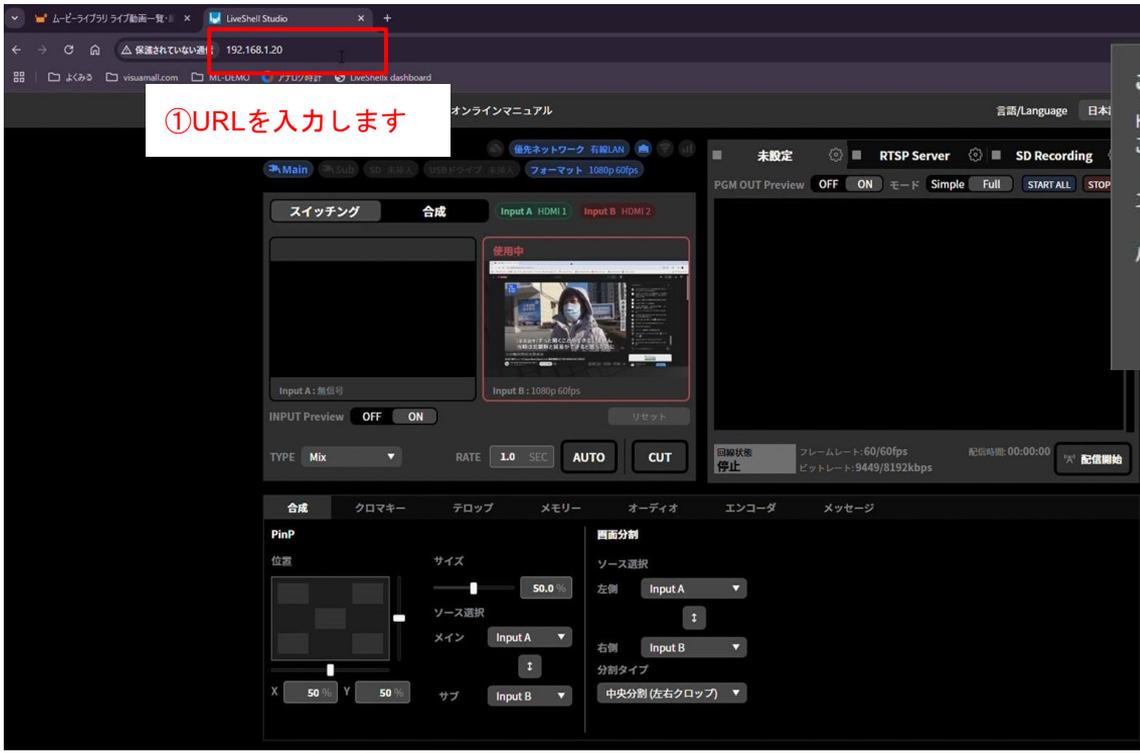


表示される「user」、「pass」、「URL」を書き留める



-LiveShell WにPCでログイン-

LiveShellと同一セグメントのネットワークに繋がったPCでブラウザを立ち上げて、LiveShell W本体にアクセスします。URLはスライドP14でLiveShell W本体前面パネルのURL欄に記載のあるものになります。ユーザ名とパスワードもLiveShell Wに表示されているものになります。



このサイトにアクセスするにはサインインしてください
 http://192.168.1.20 では認証が必要となります
 このサイトへの接続は安全ではありません

ユーザ名

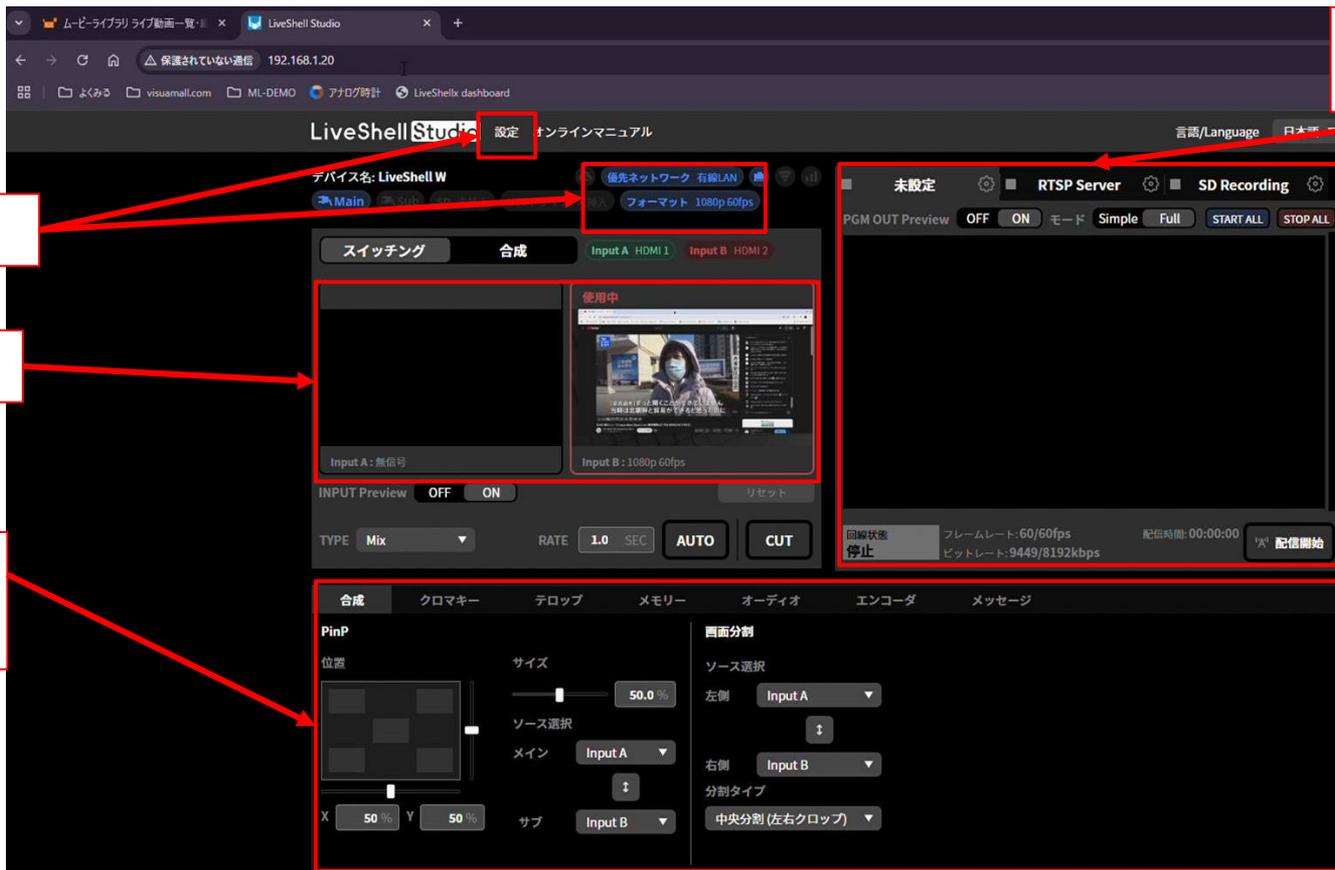
パスワード

②ユーザ名とパスワードを入力します



-LiveShell Studio-

ブラウザでアクセスすると配信の設定を行うLiveShell Studioの画面が表示されます。



配信側の確認側の確認

各種設定の呼び出し

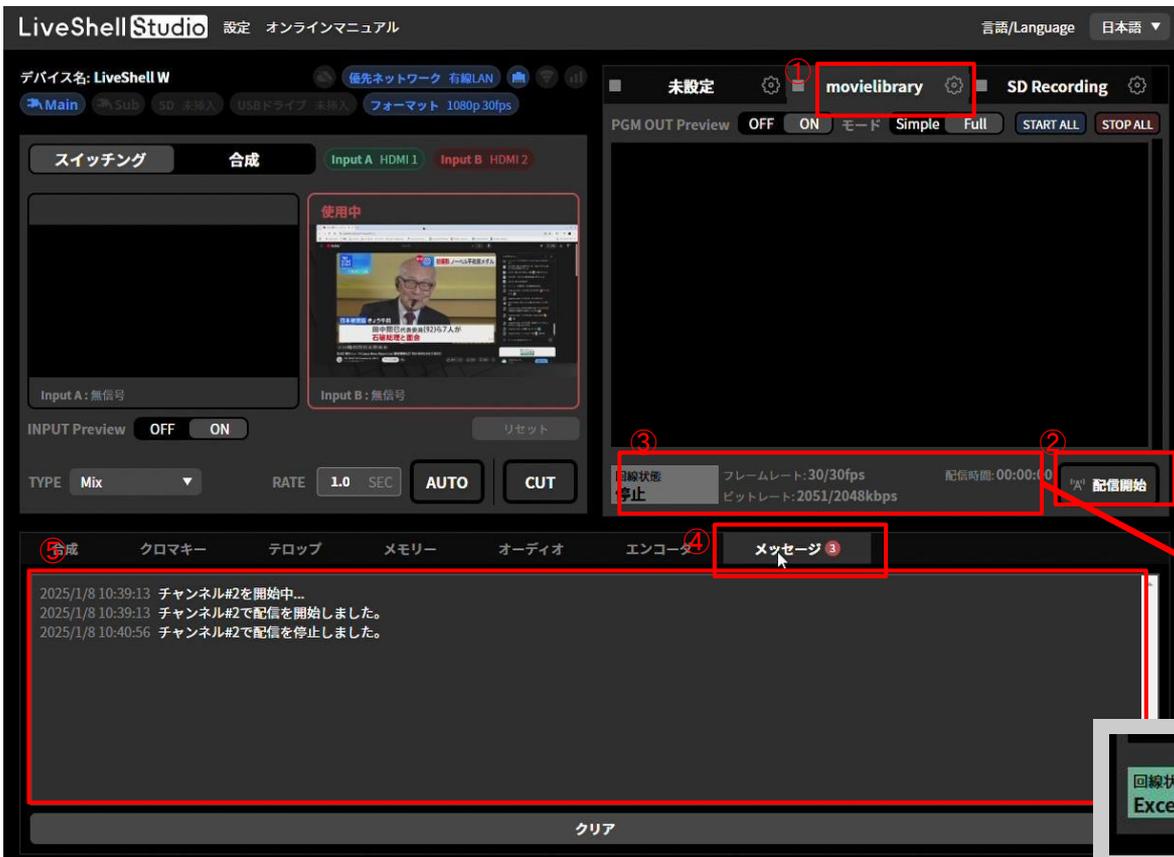
HDMI入力側の確認

各種合成、オーディオ、エンコーダの設定

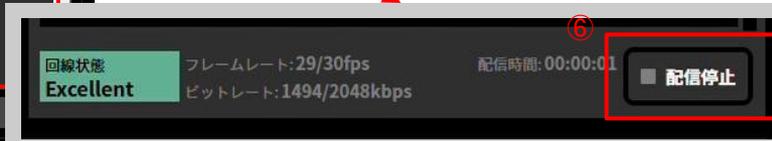


-映像配信開始-

LiveShell Studioの「配信開始」ボタンをクリックします。



- ①チャンネル2を選択します。
- ②「配信開始」ボタンをクリックします。
- ③配信状態が表示されます。
- ④「メッセージ」タブをクリックします。
- ⑤開始停止の履歴が表示されます。
- ⑥配信が完了したら、「配信停止」をクリックします。





-電源オフ-

- ① LiveShell W 前面の「電源」ボタンを長押しします。
- ② 「A」ボタンを押します。

